

糖尿病内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	糖尿病性多発神経障害（DPN）の管理法確立に向けた予後調査
研究機関名及び 研究機関の長 （試料・情報の管理 責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	（担当科）先進糖尿病治療学寄附講座 （職名）教授 （氏名）中村二郎
試料・情報の利用目的 及び利用方法	<p>〔利用目的〕 糖尿病性神経障害（DPN）が脳卒中や心筋梗塞、狭心症の発生や生命の危険におよぼす影響を調査し、今後のDPN管理法を確立することを目的とします。</p> <p>〔対象となる患者さん〕 本研究の承認から、2024年12月31日までに間に当院を受診し、HbA1c値が10.0%以下の成年糖尿病患者さん（90歳まで）</p> <p>〔研究期間〕 研究実施承認日 ～ 2029年12月31日</p> <p>〔利用方法〕 通常の診療の中で、DPNの検査を実施した患者さんに対して、5年間の観察を実施します。検査項目には、神経伝導検査、簡易神経伝導検査、心電図などが含まれます。また、その他に収集する評価項目には、病歴（家族歴、既往歴等）、身体所見（BMI等）、検体検査所見（血液・尿検査等）、画像検査所見、薬剤投与歴が含まれます。</p> <p>ご希望の方は研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できますので入手・閲覧を希望する場合は下記の連絡先へお知らせください。</p> <p>〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 下記の共同研究機関に対し、電子データの形で提供する 弘前大学、獨協医科大学、鹿児島大学、久留米大学</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：診療情報（検査結果等）
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	弘前大学・福田 眞作 獨協医科大学・吉田 謙一郎、鹿児島大学・佐野 輝

提供する試料・情報の取得の方法	情報：診療情報（検査結果等）
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	愛知医科大学・中村二郎
利用する者の範囲	弘前大学・村上千恵子, 弘前大学・水上浩哉 獨協医科大学・麻生好正, 鹿児島大学・出口尚寿、久留米大学・室谷健太
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年12月31日までに下記問い合わせ先まで窓口あるいは電話にて申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学医学部内科学講座(糖尿病内科) 担当者：講師 姫野龍仁 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22877）